



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 137 号

R5.11.21

文責 中西 勉



深く心に刻まれた「開校150周年記念式典・記念行事」

校庭のイチョウが色鮮やかな輝きを放つ中、先週18日（土）に、開校150周年記念式典と記念行事を盛大に行いました。当日、ご多用の中、学校に足を運んでくださった多くの保護者や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

開校150周年記念事業を進めるに当たっては、「記録より記憶に残る150周年」をコンセプトとしてまいりました。当日は、岡崎市長の中根康浩様が見守ってくださる中で6年生が堂々と発表を行った記念式典、ロンドンオリンピックアーチェリー団体女子銅メダリストの小林（旧姓 蟹江）美貴様による楽しさいっぱい記念講演、全校児童が約1000個の風船を一気に大空に放った感動的なバルーンリリース、日頃の練習の成果を余すところなく発揮した落語部・バトン部・音楽部の発表、「勇気100%」などの子供たちに馴染みのある曲を迫力満点に披露してくださった岡崎消防音楽隊の方々の演奏、体育館で地域の方々と職員や子供たちが輪になって踊った男川音頭など、いずれも深く心に残る貴重な思い出をみんなで創ることができました。この150周年の喜びを大好きな男川っ子や地域の皆様と分かち合えたことを本当にうれしく思います。今後も男川小が夢と希望にあふれた学校として、輝かしい歴史を刻み続けていくことを信じています。



▲記念式典 式辞を述べる柴田良一実行委員長



▲記念講演 小林様(姉)と蟹江教諭(弟)によるトークショー



▲バルーンリリース 約1000個の風船を一気に大空へ



▲式典での6年生の発表



▲落語の披露



▲バトン部の演技



▲音楽部の演奏